



語り継げ! 羽越水害 子に孫に

羽越水害40周年事業



フォーラム



羽越水害を 考える

～清流・荒川とともに～

とき

平成19年8月25日(土) 開会12:50(開場11:00)
閉会16:30

ところ

神林村総合体育館 新潟県岩船郡神林村大字九日市222
パルパーク神林内

入場
無料

主催/羽越水害40年記念事業(荒川水系)実行委員会 共催/新潟日報社

お問い合わせ先/羽越河川国道事務所調査課 TEL 0254-62-3211

フォーラム 羽越水害を 考える

～清流・荒川とともに～

とき

平成19年8月25日(土)

入場無料

開会12:50(開場11:00)閉会16:30

ところ

神林村総合体育館

新潟県岩船郡神林村大字九日市222 パルパーク神林内

プログラム

- 1 羽越水害の映像上映
- 2 オープニングアトラクション(えちごせきかわ太鼓龍泉会)
- 3 荒川フォトコンテスト表彰式
- 4 基調講演「風水害の時代的変遷と羽越豪雨」

講師/倉嶋 厚(くらしま・あつし)氏 防災気象学者・元NHK解説委員



【プロフィール】大正13年(1924)長野市生まれ。
昭和24年(1949)中央気象台付属気象技術官養成所研究科(現・気象大学校)卒業、
気象庁防災気象官、主任予報官、札幌気象台予報課長、鹿児島気象台長などを歴任、
昭和59年(1984)気象庁定年退職後、NHK解説委員となる。
現在フリーの気象キャスター、理学博士として活躍。NHK放送文化賞受賞、
勲三等瑞宝章受章。著書に『雨のことは辞典』(講談社)、『日和見の事典』(東京堂出版)、
『やまない雨はない』(文藝春秋)等多数。

- 5 荒川流域町村の小学校からの研究発表
(神林村立平林小学校・荒川町立保内小学校・関川村立関小学校)

- 6 パネルディスカッション
「羽越水害を語り継ぎ、未来に伝え継ぐために」

パネリスト/片田敏孝氏(群馬大学大学院教授)
佐藤嘉信氏(神林村川部集落区長)
佐藤貞治氏(せきかわ歴史とみちの館 館長)
加藤全一氏(神林村長)
三輪忠男氏(国土交通省羽越河川国道事務所長)

コーディネーター/種田和義 (新潟日報社編集委員)

※会場内に、羽越水害写真パネルの展示、絵画・フォトコンテスト作品展示や荒川に関する
体験学習コーナー(土石流模型実験・降雨体験装置・水鉄砲づくりなど)が併設されています。

応募方法

参加ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、はがき、ファクス、電子メールで
下記へお申し込みください。

- 定員 | 400名
締め切り | 8月17日(金)必着。応募多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって発表にかえさせていただきます。
応募先 | 〒950-1189 新潟市西区善久772-2 新潟日報社開発部「羽越水害40年フォーラム」係
ファクス 025(379)1566 電子メール uetsu@niigata-nippo.com

アクセス

- JRご利用の場合
■羽越線岩船町下車、徒歩3分
- お車でのご利用の場合
■新潟市より国道345号線利用、村上市八日市交差点より5分(70分)
■新発田市より国道7号線利用、国道7号線九日市交差点より1分(40分)
■村上市より国道7号線利用、国道7号線九日市交差点より1分(10分)

昭和42(1967)年8月28日に
本県下越地方を襲った集中豪雨から今年には40年を迎えます。
災害体験のない世代が多くなってきた現在、
羽越水害とその後の歩みを再認識し、荒川の存在や恵みを考え、
自然と共生することの大切さを理解するために、
そして防災・減災のまちづくりに向けてフォーラムを開催いたします。

